



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

今、自動車産業は、「コネクティッド」「自動運転」「シェアリング」「電動化」など「CASE」と呼ばれる新技術の登場により、100年に1度と言われる大変革の時代を迎えています。

これからのクルマは、情報によって、町とつながり、人々の暮らしを支えるあらゆるサービスとつながることで、社会システムの一部となっ ていきます。

こうした中、私は、トヨタをモビリティに関わるあらゆるサービスを提供する、「モビリティカンパニー」にモデルチェンジすることを宣言いたしました。

未来のモビリティ社会は、トヨタだけでは創れません。想いを共有し、一緒に歩んでいく「仲間」の存在が不可欠です。

トヨタの仲間づくり戦略は、3本の柱で成り立っています。まずは、「ホーム&アウェイ」の考え方に基づいた、デンソーやアイシンなど同僚ルーツを持つグループ企業との連携強化、次に、もっといいクルマづくりへの想いを共有する他の自動車メーカーとのアライアンス、最後に、モビリティサービスを提供する異業種との提携を積極的に進めていくことです。

ビジョンを共有した仲間たちとともに、知恵を出し合い、改善を積み重ねることで、誰もがより快適・安全に、そして、移動の楽しさや、クルマへの「愛」を感じることができるような未来のモビリティ社会を、一日も早く現実のものにしていきたいと考えています。

株主の皆様には、当社が描く未来のモビリティ社会にご期待いただくとともに、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。